

2014 7. vol.45



社会福祉法人

# 愛媛いのちの電話

1985年電話相談を開始し29年目を迎えました



ゾウの親子

写真提供 愛媛県立とべ動物園

## ひとりぼっちで悩まないで……

相談電話 **089-958-1111**

毎月1日～10日：昼12時～翌朝6時

11日以降：昼12時～午後10時

インターネット相談

<http://inochinodenwa-net.jp/>

※お受けできる相談の数には限りがありますので、ご了承ください。

# 『半音のない世界で』

講師 清水眞砂子  
(評論家・翻訳家)

1941年徳源（現北朝鮮）に生まれ、'46年4月引き揚げ。静岡大学教育学部卒業後、静岡県立高校教諭（英語担当9年）を経て1976年4月～2010年3月末まで青山学院女子短期大学専任教員 現在名誉教授  
著書に『子どもの本の現在』『子どもの本のまなざし』（日本児童文学者協会協会賞受賞）他多数 『ゲド戦記』全6巻（日本翻訳文化賞受賞）『夜が明けるまで』（サンケイ児童出版文化賞受賞）他多数



20年くらい前、たまたまテレビで作曲家の小林亜星さんが、「コマーシャルソングには“半音”は使えないのです。」とおっしゃっているのを耳にしました。この時「半音のない世界」という言葉に出会いました。しかし、コマーシャルソングにはなぜ半音は使えないのかは説明していなかったもので、このことについてしばらく考えていましたが、その後ずっと忘れていました。ところが、最近になって繰り返し、繰り返し「コマーシャルソングには半音が使えないのです。」という言葉思い出すようになり、今この社会の、ある意味での生き辛さ、生きにくさというのは、これと関係がないだろうかと思い始めました。

半音は、ちょっとした『ためらい』や『不安』、少なくとも『陰影』『影』を表す非常に的確で適切な音です。しかし、今、私達の前には、半音のない、非常に明快で、単純な世界が広がっているのではないかと感じています。今の社会は、不安を持つことがいけないことだと思ひ込ませ、ためらうなんてしない、ちょっと足を止めて何か考えようとする「何をやっているんだ」と言われ、いつも成果を求められている。その中で、半音が消えているのかもしれませんが。

私がいた大学では、「悩んではいけないと思

い込んでいる」、「朝からずーっと明るい子をやっていて疲れ、素の自分に戻れるのは、お風呂の中だけ」、「ひとりでいるのは負け組のすることだと思ひ込み“トイレランチ”（トイレの個室で食事をする）をする」、そんな学生たちに出会ってきました。また、学生だけではなく、大人たちも安心して自分の真面目さを出すことができず、話を適当に合わせ情報交換してすごしている。真面目な議論ができない雰囲気を感じ取っているのではないかと思います。

本当のマイナスと向き合わずに、プラスの明るさだけを求める半音がない世界では、暮らしが『イベント』と『消費』でほとんど覆い尽くされようとしているような気がします。ラジオでは毎日イベント情報がながれ、学生に子どもの頃一番幸せだった思い出を尋ねると、どこかに連れて行ってもらったこと（イベント）、何かを買ってもらったこと（消費）と答えが返ってきます。

しかし、質問を改め、イベントと消費以外の思い出を尋ねると、何気ない日常の中のふとした瞬間の幸せな思い出に支えられて生きてきたのかもしれない、と気づくような出来事が次々と出てきます。イベントと消費を除けば、自分たちが本当に大事にしなければならないこと、

あるいは、幸せだと思えることがはっきりと見えてくるに違いありません。

自分のゼミで、作品を読み一番感動したことを話すことをしていましたが、ある学生の発言をきっかけに、二番目か、三番目に感動したことを話すようにと方針を変えました。それは自分が幼い頃、自然の美しさに驚きを感じていた時、その瞬間、まったく一人で宇宙や世界と向かい合っていた事に気づいたからです。自分中で一番感動したことは、他者と共有せず、むしろ、自分の中にじーっと置くこと、それが火鉢の熾（おき）のように、その人を内部から育てていくのではないかと、思うようになりました。それからは、「一番感動したことは、自分中に大事に取っておきなさい。それが、あなた達の中で熾となって、あなた達を育てていくから。」と言うようになりました。黙っていて表現していないと何も考えていないといわれますが、そうではありません。児童文学の『十一歳の誕生日』（ポーラ・フォックス著）の中の主人公がそれを物語っていますし、ゼミの学生の中にも、発言はないが、いっぱい考え、参加しているのは表情やしぐさからわかる学生がいました。

『ゲド戦記』の最終の第6巻『アースシーの風』は、女性の主人公テナーが、大事な旅を終えて帰宅し、留守番をしていた夫ゲドに「あたしが留守の間、何してた？」と尋ねると、「家の中のこと、外のこと」と答え物語が終わります。あの壮大な物語は、どこにでもある夫婦の会話で終わる。私はこの終わり方、すごい終わり方だと思っています。つまり、どこにでもある平凡な夫婦の言葉＝凡庸に着地しています。この物語は、さまざまな試練を潜り抜けてきたゲドとテナーの英雄の物語ではなく、英雄になる力を持った男が、英雄らしさをどんどん捨て、一人の凡庸な男に着地する物語です。

全巻訳し終え、作者のグウィン夫妻を尋ねました。「これは（ゲド戦記）はご夫婦の話であつたのではありませんか？」と尋ねると、夫は否定もしなければ、肯定もしませんでした。少なくとも否定はしなかった。私はもっとも彼女が

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください

## 自殺予防 いのちの電話

毎月10日はフリーダイヤル

0120-738-556

毎月10日 8:00～翌日8:00  
[24時間・無料です]

言いたい言葉は『ゲド戦記』第5巻「ドラゴンフライ」の中の「世界でたった一つ希望が残っているとしたら、それがどこにあるか？それは名もなき人々の中に見出される。」これが一番大事な言葉かもしれないと思っています。

孤独も、不安も、迷いもあってはならない、生き辛さはすぐに取り除かないといけない、本当にそうなのでしょうか？それらは生きていく力や、肥やしになるのではないのでしょうか。こういったことは児童文学作品でも表現されてきましたし、精神科医や翻訳家、脚本家のなかに同様の思いを抱く人たちがいらっしゃいます。例えば、『空也上人がいた』（山田太一著）には、「時間の早さではなくて、遅さを取って拾っていく」ということが書かれています。また、句集『棺一基』（大道寺将司著）には、死刑囚の物凄いや悔いと懺悔、苦しみの中にも、身の回りのちょっとしたものに目を留めていく“まっとうな”人間らしさが詠まれています。日常生活を深く、大切に生きていくこと、そのことによって、人は（内面的に）まっとうな所までは行けるのではないかという気がします。

（文責 広報委員会）

この講演会は、厚生労働省自殺防止対策補助事業の一環として毎年開催しています。

# あなたも相談ボランティア

## 公開講座スタート

5月10日(土)松山市若草町ハーモニープラザにて、「傾聴スキルアップセミナー(前期公開講座)」が開講しました。朝日新聞、愛媛新聞、愛媛CATV、リビングまつやまなど様々なメディアを通じて皆さまに講座を知っていただいたようで、多くの方々に受講いただいております。



	日時	内容	担当講師
NO.1	5月10日 13:30~15:30	理事長あいさつ	愛媛いのちの電話理事長 臨床心理士 勝山幼稚園園長 武井義定
		カウンセリングについて 傾聴とは	愛媛県スクールカウンセラー 臨床心理士 大久保雅代
NO.2	5月24日 13:30~15:30	診療室から見える現代人の心	森神経科心療内科院長 精神科医 森 秀人
NO.3	6月7日 13:30~15:30	現代社会とこころの危機 人が死にたくなるとき	松山東雲女子大学講師 臨床心理士 池 志保
NO.4	6月21日 13:30~15:30	沈黙の声を聴く 吉野弘の夕焼けを通して	愛媛大学教育学部教授 壽 卓三
NO.5	7月5日 13:30~15:30	カウンセリングについて 具体的に学ぶ	えひめ親子人間関係研究所所長 松山赤十字病院小児科 心理カウンセラー 平林 茂代

## 実習生の声

### 養成講座をおえて

私は障害を持って23年になります。それは29歳の春のことでした。風疹のあと、ギランバレーを併発し重度の後遺症が残ったのです。本来の私はスポーツ大好きな好奇心旺盛で、皆を心配させるほどの行動力の持ち主でした。しかし180度スタイルが変わってしまったのです。23年もこの体ですが、なかなか慣れないものです。本来のポジティブな性格がなんとか生かしてくれたかと思えます。健常者より、親切にされ助けられ優しさに触れる機会は多いですが、その反面も同じ以上に経験します。また自分以外のたくさんの不幸にも出会ってきました。助けたい、力になりたいと思っても上手に助けられない自分にジレンマを感じる事がほとんどで、もはや諦めていた時偶然、傾聴セミナーの募集に出会い何もわからないままスタートしたのでした。受講を重ねる度に自分勝手な優しさや考え方、視野の狭さ、知識のなさに落ち込むばかりで、苦を持った私ができるのかと不安なことばかりでしたが、指導して下さる先生やサポーターさんに励まされ、あれよあれよと言う間に修了証書をもらうことに……。大人社会では人を信じること、素直になることが難しく、無になることが楽だと思ってしまっていた私ですが、今、褒められたり教えられたり新たに勉強したり、卑屈になっていた感情や脳が素直に動き始めた気がします。障害の壁がない自分でいられる場所が見つかったように思っています。大げさですね……。生命に関わる重大なことへの関わりですが、傾聴することで、人のためにも自身の成長のためにもつながっていけるようになることを願っています。

(S・F)

### 傾聴との出会い

傾聴という言葉初めて耳にしたのは、情けなくも今から4年余り前の事でした。自分は自助グループの相談員を10年近く携わってきました。地域性もあり相談回数は年1回2回あるかないかが現状です。自分の運命を変える出来事といえばオーバーですが……。4年前、一組の家族が見えられ、自分は「ただ話を聞く」姿勢だったので、相手の感情を逆なでし激怒させてしまいました。その姿にあたふたした自分は、ただただうなずくだけ、返事するだけにしました。すると相談者の方に変化が。怒りが沈まると泣き始めました。相談者が帰られた後、自分の未熟さに不甲斐なさに数日落ち込んでいました。それが「傾聴」との出会いとなり、いのちの電話傾聴スキルアップセミナーを受講した次第です。今の世の中、話したくても話せない。話す人がいない。そんな淋しい時代だと思えます。前期・後期のセミナーを通して学びたりない事もありました。でも自分一人で活動しているんじゃない。サポーターの方もいるし同期の方々もいてくれる。わからない事は教えてもらい、そして今後の活動の中で、電話を通してでも、一人一人の方々へ少しづつ寄り添う事が出来れば、そして言葉を通して気づきを頂きながら自分自身も変わっていかないと。という思いが強くなりました。どこまでやるだろうという不安な気持ちはありますが、今できる事、今だからやれる事を……。悔いのない人生にしていきたいなと思って、頑張っていきたいです。

(K・T)

# イアになりませんか？

## 相談員 の 声

### 再出発を決めました。

平成 11 年に養成講座を受講。その後電話を受けることが苦しくなり休会しましたが、2 年半後奇跡の復活。やっと 1000 時間達成。

誰かが言った

生きているということは 誰かに借りをつくること  
生きていくということは その借りを返していくという  
こと

誰かに借りたら 誰かに返そう

誰かにそうしてもらったように 誰かにそうしてあげよう

生きていくということは 誰かと手をつなぐこと  
めぐり合い 愛し合い やがて別れの日 その時に

悔やまないように 今日を 明日を生きよう

人は 一人では生きていけない

誰も一人では生きていけない

もう少し、もう少しだけ頑張って生きていこう。

次の目標？まで？

(K・M)

### ありのままの自分を受け入れて

あまり気負う事なく自分の気持ちに素直に関わってきました。そして、いつのまにか年月が経っていたのが不思議な感じです。

人それぞれ、考え、思いが違うという事に改めて気づきました。

自分は、どういう人間か、という事にも向き合う事になりました。

後ればせながら、人生勉強、社会勉強させていただいたように思います。

思い通りにならない事多い人生ですが、その中で、ありのままの自分を受け入れ、お互いの気持ちを思いやり尊重しながら生きていけたらいいですね。

生きづらさを感じていた私ですが、この活動を通して穏やかな気持ちでいられるようになったと思います。

やはり人を育ててくれる活動なのですね。

今まで活動できた事、理解と協力してくれた家族、仲間との出会いと支えに深く感謝しています。

(Y・K)

## 1000 時間

### 1000時間をふり返って

電話相談員として 12 年目になる。その間に両親の介護という大きな試練があった。主婦がボランティアの時間を遣り繰りするのは大変なこと。寝たきりの父をヘルパーさんに頼んで家を空けて、長男の嫁という立場から周囲のひんしゆくを買ったこともある。当番の日と、親戚や近所の冠婚葬祭とが重ならないことを心配していた。そんな思いをしながらも続けて来れたのは、仲間の支えがあったからこそ。私の心を癒して育ててくれた仲間たち、本当にありがとう。又、様々な相談者との出会いによって、広い視野で物事を考えられるようになった。電話相談員を続けることが、私の人生にとって意味のあることだった気がする。強い気持ちで臨んだ 1000 時間、とても大切な充実した時間だった。これからも仲間と共に、相談者の悩み苦しみに寄り添える存在でありたいと願っている。

(K・M)

### 1000時間受信を達成して

十数年間、「いのちの電話」に関わる事ができたことをうれしく思っています。生活に時間的余裕、精神的ゆとりのない時もこの活動を続けてこられたのはやはり自分の中にこの電話での関わりを必要としているものがあつたからだと思っています。

電話をかけてこられる方はいろいろな思いで話をされますが、受ける時によって私も様々な精神状態にあり、いろいろな思いを持っています。明るく受け答えできる時もあれば、かけてこられる方の思いに引き込まれてしまい対応がうまくいかないときもあり、自分の考えの窮屈さに気づかされることがあります。電話をかけてこられる方の気持ちが少しでも軽くなればと思って話しているつもりなのですが、自分に言い聞かせているのではないかと気づき、結局は電話相談が自分探しになっているのではと思っています。電話相談の奥の深さを感じつつ、これからも私なりに活動させて頂けたらと思っています。

(H・T)



## ご挨拶

愛媛いのちの電話後援会  
会長 森田 浩治

日頃は「愛媛いのちの電話後援会」の活動に対し、多大のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび麻生俊介会長のあとを受け、後援会会長に就任いたしました。もとより微力ゆえ、相談員の方々や関係各位の皆様方のお力添えをいただきまして、その責を果たしたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、社会構造が大きく変化し、複雑化する中で、自殺を考えるほどの深い悩み・苦しみ・辛さを抱え、誰にも相談出来ずに孤独のうちにある方々が少なからずおられます。「愛媛いのちの電話」は、その様な方々と電話での対話を通して隣人として共に考えて行き、少しでもその方の心の支えとなる事を目的として活動を続けており、1985年の開局以来29年間休むことなく相談電話に耳を傾けております。また、この活動は、2004年4月からは社会福祉法人としての認可を受け「社会福祉法人愛媛いのちの電話」として事業を継続しております。

2012年、2013年は自殺者が3万人を切り、愛媛県でも一年間に400人近くの方が亡くなっている状況からは減少傾向にあります。しかし、自殺者が3万人以上となった1998年よりもすでにだいぶ前から、日本の自殺率は先進国中で最悪の水準であり、決して安心できる状況ではありません。

「愛媛いのちの電話」の総受信件数は年々増え続け、2013年は12,500件、そのうち自殺傾向の占める割合は9.2%となっており、2004年の総受信件数11,000件、自殺傾向の割合6.3%から大きく変化しております。

このような現実、いのちの電話相談事業に対する役割の重大さを再確認するものであり、「愛媛いのちの電話後援会」もまた、社会の期待に対し、電話相談事業への後援活動をより一層拡充することが望まれています。

今後とも力強いご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 寄付金の税制優遇措置について

愛媛いのちの電話へのご寄付は、特定公益増進法人に対する寄付として、税制上の優遇措置＝寄付金控除を受けることができます。個人のご寄付の場合、平成23年度税制改正により、既存の「所得控除」に加え、新たに「税額控除」の制度が導入され、どちらか一方を選択していただくことになりました。ただし、2012年（平成24年）11月29日以降のご寄付についてこの制度の適用を受けることが出来ます。

### 【所得税の寄付金控除】

「所得控除」か「税額控除」のうち、どちらか一方を選んで確定申告を行なって下さい。個人の所得額および寄付金額によって、どちらが有利かは異なりますので、詳細は、お近くの税務署にお問い合わせ下さい。寄付金額が50,000円、所得税率20%の方の場合それぞれの控除対象額は、以下の通りです。

A. 所得控除の場合 (50,000円 [寄付金額] - 2,000円) × 20% [税率] = 9,600円

B. 税額控除の場合 (50,000円 [寄付金額] - 2,000円) × 40% = 19,200円

※寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。

# ある日の電話から

「ここにかける前に他県にかけたら、あなたとは話したくありません、と相談員に言われた。腹が立ってしょうがない。」

イライラした口調で訴える20歳代の男性。

——「相談員に対して腹立たしい・・・という事ですね？」と確認する。

「地元のいのちの電話にかけてください、と言われました。」

相談員に対する苦情を言わずにはいられなかった様子で、気持ちを吐き出して苛立ちは治ったらしい。

「本題なんですけど……」と話し始めた。

「元々気性が荒い性格だった。でも最近自分で気持ちを抑えることができない。その上不眠症になって困っている。僕のことを心配して友人(彼女)が病院へ行ってみたら、と言った。最初の病院でも2件目の病院でも統合失調症と言われた。」

事情があり、僕はおばあちゃんに育てられた。中学の時は不登校になり、髪を染めたりピアスしたり……すごく荒れていた。」

「幼なじみが朝迎えに来てくれたり、一緒に遊んだりした。『もうかっこつけるのやめーやー。』と言ってくれたこともあった。」

「おばあちゃんから話がききたい、と病院の先生から言われている。だけど、僕はおば

あちゃんに病気のことを話したくないんです。わかりますか？僕の言ってること。」

——「おばあさんに心配かけたくないのでしょ？」

「それもある。」

——「病気のことを話したくないのですね。」と話すと、

「おばあちゃんは今病気で通院している。」  
「今まですごく迷惑かけてきたけど、おばあちゃんには感謝している。どうしたら分からない・・・」

「いつ治るのかなあ？」と先生にきいたら「さあなあー、長くかかるかもなあー。」と言われた。

「なんでこんな病気になってしまったんやろ？」

——「・・・そうねえ・・・」  
話しているうちに、すっかり落ち着きを取り戻した。

最後に彼は、「もしも病気が治ったら、つながるかどうかわからないけど、もう一度電話をかけて僕の話聞いてくれた相談員さんがいたことを話したいです。ありがとうございました。」という言葉を残して電話は終わった。

※内容は、電話を基に構成し直したものです。

## 『イオンイエローレシートキャンペーン』

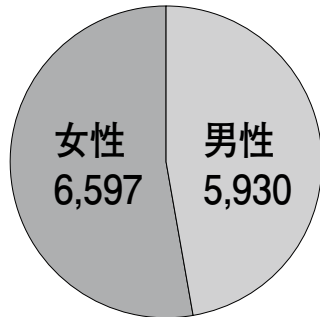
毎月11日にイオン松山店で実施されている『イエローレシートキャンペーン』は、イオンさんと店に買い物に来られたお客さまのご好意で、集めたレシートの合計金額の1パーセントがボランティア団体に寄贈されるという、活動資金難のボランティア団体にとってはとてもありがたい催しです。現在イオン松山店では約30団体が登録をして、毎月11日にはイオン松山店に立ってお客さまにご協力をお願いしています。

# 社会福祉法人 愛媛いのちの電話 事業報告

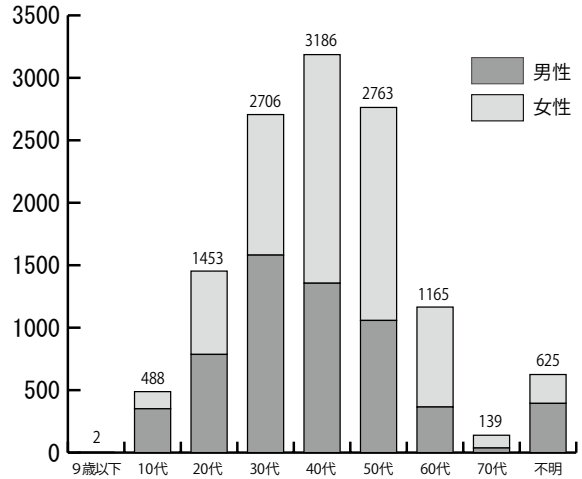
## 電話相談受信状況 (2013年1月1日～2013年12月31日)

- 1、受信時間 1日～10日 12時～翌朝6時  
10日～月末 12時～22時
- 2、相談員 98名(実働75名)
- 3、受信件数 12,527件  
そのうち自殺志向のある相談1,155件(9.2%)

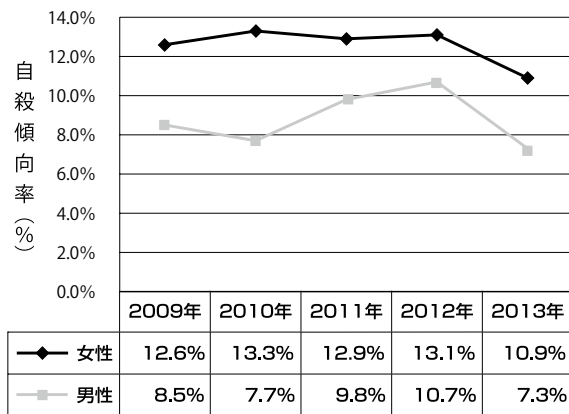
### ▼ 男女別相談件数



### ▼ 年代別相談件数



### ▼ 男女別自殺傾向率

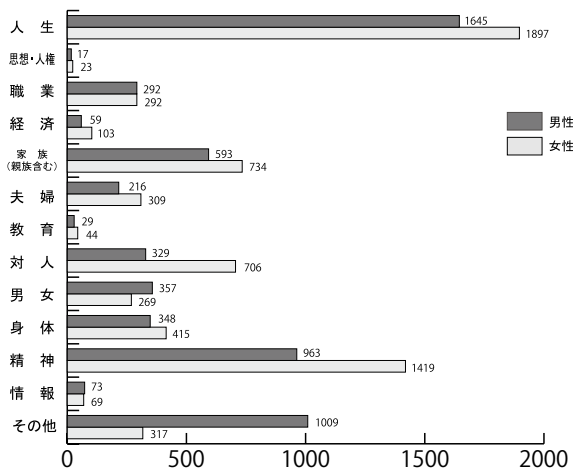


自殺傾向率 = 自殺を訴えた相談件数 / 全相談件数

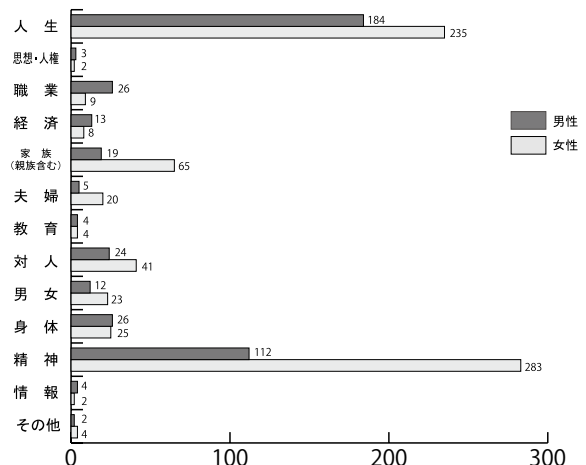
### ▼ 年代別相談者内訳

	男性	女性	計
9歳以下	2	0	2
10代	351	137	488
20代	786	667	1,453
30代	1,581	1,125	2,706
40代	1,356	1,830	3,186
50代	1,058	1,705	2,763
60代	365	800	1,165
70代	37	102	139
不明	394	231	625
合計	5,930	6,597	12,527

### ▼ 問題内容別相談件数



### ▼ 自殺を訴えた相談内容





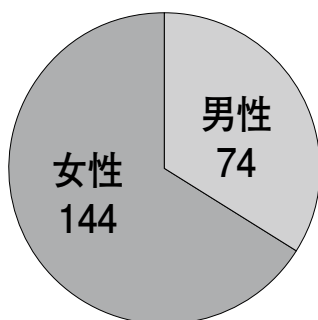
インターネット相談実施状況

(2013年4月1日～2014年3月31日)

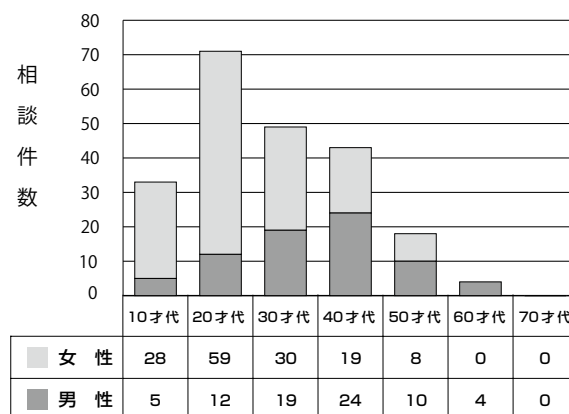
- 1、実施日 合計29日 (1月に2～3日)
- 2、担当相談員 18名
- 3、受信件数 218件  
自殺志向のある相談 41件 (18.8%)



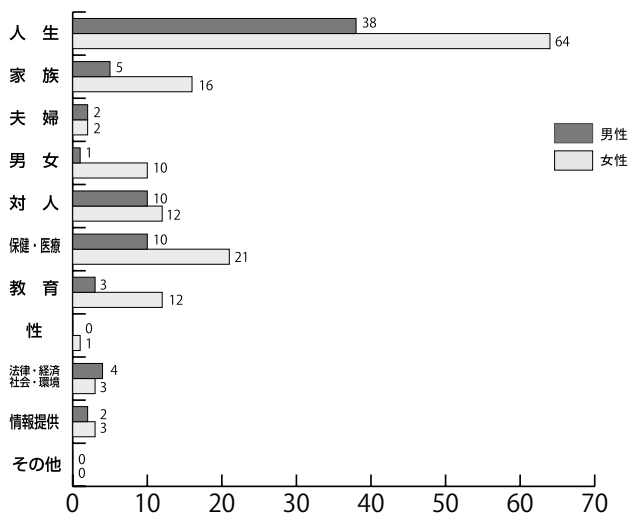
▼ 男女別相談件数



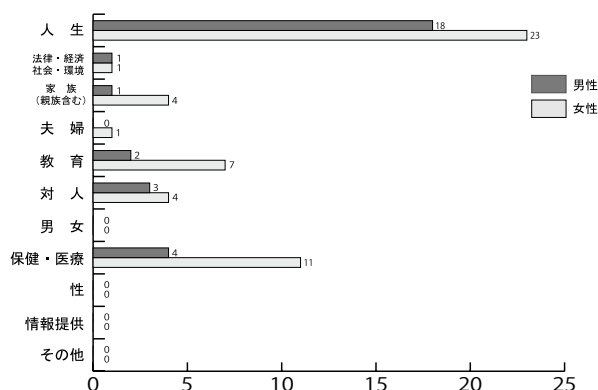
▼ 年代別相談件数



▼ 問題別相談件数



▼ 自殺を訴えた相談内容



インターネット相談は、全国のいのちの電話のうち盛岡、仙台、東京、奈良、愛媛、福岡の6センターが協働で相談活動を行っています。上掲は昨年度愛媛で担当した218件についてのご報告です。

最も多く相談を寄せているのは20代で、電話相談と比べて特に10代20代の女性からの相談が多いことが分かります。男性は、女性に比べて相談件数が約半数と少ないですが、そのうち最も多いのは40代で、女性とは異なる傾向を示しています。

問題別相談内容については「人生」が最も多く、次いで「保健医療」となっており、電話相談の「人生」、「精神医療」と同様の結果が見られます。自殺志向は高く、電話相談(9.2%)に比べて約2倍の18.8%でした。

インターネット相談の場合、相談員の作成した返信文が相談者にどのように受け止められているか分からないため、相談利用者へのアンケートを昨年12月より開始しています。

# 事業報告

## 平成25(2013)年度 事業報告 (2013年4月1日～2014年3月31日)

### 1、理事会・評議員会の開催

- 5月16日 評議員会および理事会  
平成24(2012)年度、事業報告、決算報告  
決算報告書および次年度予算書について
- 12月4日 理事会  
経理規定について  
平成25(2013)年度上半期事業報告、会計報告
- 3月17日 評議員会および理事会  
平成25(2013)年度補正予算  
平成26(2014)年度事業計画および予算について

### 2、電話相談事業

- 受信時間  
相談時間10時間(毎日12時～22時)  
月初め10日間は(12時～翌朝6時)  
電話2台 受付番号 089-958-1111
- 相談員  
2013年4月1日現在  
登録相談員 98名(男24名、女74名)  
実働相談員 75名(男16名、女59名)  
実習 14名(男6名、女8名)  
平成24(2012)年度 1000時間達成者 4名
- 受信件数(2013年1月から12月)  
相談件数:12,527件(1日平均34.3件)、  
そのうち自殺志向のある電話:1,155件 9.2%  
※参考(2012年1月から12月)  
相談件数:10,887件(1日平均29.8件)  
そのうち自殺志向のある電話:1,294件 11.9%
- 新居浜分室  
毎月3回の実施 受信件数:1,210件(1日平均33.6件)
- インターネット相談(平成25年度)  
毎月2～3回の実施 登録相談員:18名  
実働相談員:16名 返信数:218件(4月～3月)  
そのうち自殺志向のある相談:41件 18.8%

### 3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座  
第32期 4月から9月まで14名が実習、  
13名認定  
10月3日 認定証授与式  
第33期  
5月11日 傾聴スキルアップセミナー開講  
7月6日 終了者:12名  
8月17日 後期受講希望者 面接:7名  
8月31日 養成講座後期開講 受講者:7名  
8月31日～9月1日 宿泊研修  
3月8日 修了式 修了者:7名
- 現相談員のグループ別継続研修(月1回)  
継続グループ数 8グループ(1年目のわかばグループ、  
2年目の青葉グループを含む)  
訓練委員 6名  
大久保雅代、安藤 浩範、武井 義定、  
野口理英子、平林 茂代、横田 和子
- ネット相談員  
継続研修(愛媛県委託事業として)  
1回目 8月2日  
担当:野口理英子、横田 和子  
2回目 2月16日  
担当:横田 和子 谷口 祥子  
(えひめ若者サポートステーション)
- ネット相談員コーディネータ研修  
(東京いのちの電話による厚生労働省委託事業として)  
研修を受けた相談員:9名  
コーディネータとして認定:8名  
研修日 11/3～4、11/24、2/16  
実習 11/25、12/16、1/16、他に任意の2回

### 4、委員会活動

- 研修企画委員会 各研修会、来年度の養成講座の企画と検討、相談員の認定
- 相談委員会 相談室内の問題点等を検討  
11月30日 相談員全体会「大いに語ろう」開催 57名参加
- 広報委員会 外報誌「愛媛いのちの電話」を発行 43号(7月)44号(12月)  
事業報告書の作成と配布、  
その他広報ツールの作成
- 財務委員会 イオンデー:毎月11日、イエローシートキャンペーンに参加  
松山店・マックスバリュ西日本  
合計64,800円

- 外報誌を後援会会員に郵送
- 事業委員会 松山市民吹奏楽団定期演奏会(3月10日 松山市コミセン)を共催  
チケット売上げによる収益:24,500円  
募金箱:7,810円  
NPO法人パステルクラブ内心身障害者作業所  
パステル工房のクッキー販売 収益:4,000円  
相談室内のバザー売上:33,523円
- 統計委員会 受信電話の統計処理、連盟への報告
- 運営会議 各会議、委員会、事務局の連絡報告  
事業の計画・実施について討議
- 事務局 内報誌「なかま」の発行 毎月1回  
ホームページの更新 新会計ソフト導入 その他 事務全般を担当

助成金の申請、報告等

- 愛媛県精神保健福祉協会  
「愛媛県精神保健福祉思想普及事業費補助金」
- 赤い羽根共同募金

- 30周年記念行事実行委員会 6月から開催  
(6/17、8/29、10/31、12/19、2/20)

### 5、平成25年度愛媛県自殺予防緊急対策委託事業

「電話相談支援事業」インターネット相談

### 6、全国のセンター、連盟との連携

- 厚生労働省補助事業 フリーダイヤル自殺予防いのちの電話  
愛媛は24時間の参加…毎月10日午前8時から11日午前8時まで  
・公開講演会 4月26日(土)14:00～16:00  
講師:高木 俊介氏  
「水俣・福島・精神医療ー今いのちを考えるー」  
松山市総合福祉センター 大会議室  
参加者:73名  
・連盟出前研修会 3月16日(土)13:30～16:30  
松山市ハーモニープラザ  
講師:阪田 憲二郎氏(神戸いのちの電話研修委員)  
岡本 正子連盟事務局長
- フリーダイヤル「いのちの電話震災ダイヤル」  
2013年9月30日を持って終了
- 日本いのちの電話連盟の会合  
・6月7日 一般社団法人日本いのちの電話  
連盟定期総会(京都)理事長出席  
・7月17～19日 全国事務局長会議(福島)  
事務局長出席  
・11月3日 全国研修担当者セミナー  
研修企画委員長出席
- 第1回中国・四国いのちの電話事務局会議  
担当:愛媛(5月27日～28日)  
参加:15名(鳥取2、島根1、岡山1、広島1、香川2、  
高知3、愛媛5)  
会場:済美会館、松山市子規記念博物館、道後温泉大和  
屋本店

次年度は岡山で開催

- 第31回全国相談員研修会おおさか大会  
10月25～27日 参加:18名
- インターネット相談  
・合同研修会 台大会(1月12～13日)  
・実施センター会議 全3回  
(東京・盛岡・仙台・奈良・福岡・愛媛)  
5月24～25日、10月14日～15日、1月13日

### 8、愛媛県、松山市諸機関との連携

- 愛媛県指導監査 3月12日
- 愛媛県被害者支援連絡協議会 理事長出席  
幹事会7月18日、定例会9月26日
- 愛媛県自殺予防対策連絡協議会 9月12日  
事務局長出席
- 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力
- 松山市自殺関連機関連絡会 事務局長出席  
7月4日、3月26日  
9月9日 自殺予防週間 4名参加  
松山市駅・JR松山駅前にてカード 配布
- 松山市ゲートキーパー研修 講師 理事長
- 松山市「生きる応援フォーラム2013  
～みんなで考える自殺予防～」10月23日  
自殺予防を行う民間団体としてパネル表示  
3名参加
- 松山市自殺対策推進委員会  
4/18、7/25、10/10、11/28、1/30 事務局長出席

2013年度 事業活動計算書及び資金収支計算書

2013年4月1日～2014年3月31日 (単位：円)

資金収支計算書				
勘定科目		2013年度決算	2014年度予算	
事業活動による収入	その他の事業収入	830,000	830,000	
	その他の収入	463,000	463,000	
	経常経費寄附金収入	4,422,772	4,380,000	
	受取利息配当金収入	3,966	3,000	
	その他の収入	594,077	600,000	
	事業活動収入計(1)	6,313,815	6,276,000	
	事業活動による支出	人件費支出	2,717,439	2,859,000
		事業費支出	1,427,313	1,545,000
		事務費支出	1,350,957	1,474,000
		事業活動支出計(2)	5,495,709	5,878,000
事業活動資金収支差額(3)=(2)-(1)		818,106	398,000	
施設整備等による収入	施設整備等収入計(4)			
	固定資産取得支出	398,000	398,000	
	施設整備等支出計(5)	398,000	398,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△398,000	△398,000	
	その他の活動による収入	その他の活動による収入計(7)		
その他の活動による支出計(8)				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予備費支出(10)				
当期資金主通差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		420,106	0	
前期末支払資金残高(12)		5,615,504	5,615,504	
当期末支払資金残高(11)+(12)		6,035,610	5,615,504	

事業活動計算書		
勘定科目		2013年度決算
サービス活動増減の部	収益	830,000
	その他の収益	463,000
	経常経費寄附金収益	4,422,772
	サービス活動収益計(1)	5,715,772
	費用	2,717,439
	事業費	1,427,313
	事務費	1,350,957
	減価償却費	490,924
	サービス活動費用計(2)	5,986,633
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△270,861
サービス活動外増減の部	収益	3,966
	その他のサービス活動外収益	594,077
	サービス活動外収益計(4)	598,043
	費用	
サービス活動外費用計(5)		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	598,043	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	327,182	
特別増減の部	収益	
	特別収益計(8)	
	費用	
	特別費用計(9)	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	327,182	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	8,632,088
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	8,959,270
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	
	その他の積立金積立額(16)	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	8,959,270

貸借対照表

2014年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,153,774	流動負債	118,164
固定資産	14,478,225	負債の部 合計	118,164
基本財産	11,554,565	純資産の部	
その他の固定資産	2,923,660	基本金	11,554,565
		次期繰越活動増減差額	8,959,270
		純資産の部 合計	20,513,835
資産の部 合計	20,631,999	負債及び純資産の部 合計	20,631,999

財産目録

2014年3月31日現在 (単位：円)

資産・負債の内訳	金額	資産・負債の内訳	金額	資産・負債の内訳	金額
<b>I 資産の部</b>		<b>2 固定資産</b>		<b>II 負債の部</b>	
<b>1 流動資産</b>		(1)基本財産		<b>1 流動負債</b>	
現金預金	5,584,186	定期預金	11,554,565	事業未払金	30,628
小口現金	29,331	<b>基本財産 合計</b>	<b>11,554,565</b>	職員預り金	23,536
郵便局 岡田支店	688,641	(2)その他の固定資産		前受金	64,000
愛媛銀行 末広町支店	904,710	建物	1,919,279	<b>流動負債 合計</b>	<b>118,164</b>
郵便局 岡田支店	378,755	器具及び備品	592,681	<b>2 固定負債</b>	
伊予銀行 本店営業部	3,582,749	権利	411,700	<b>固定負債 合計</b>	<b>0</b>
事業未収金	539,900	<b>その他の固定資産 合計</b>	<b>2,923,660</b>		
貯蔵品	2,688				
前払金	27,000	<b>固定資産 合計</b>	<b>14,478,225</b>	<b>負債 合計</b>	<b>118,164</b>
<b>流動資産 合計</b>	<b>6,153,774</b>	<b>資産 合計</b>	<b>20,631,999</b>	<b>差引純資産</b>	<b>20,513,835</b>

上記会計監査の結果適正であることを認めます。

2014年5月2日

監事 近藤 猛 星加 修

感謝

# あたたかいご支援 ありがとうございます

2013年11月1日～2014年4月30日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順・敬称略)

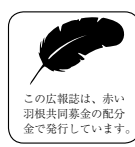
個人	秋川 裕恵	東 麗子	足立 純一	有光千恵子	安藤 浩範	井口 美栄	池川 道和
岩瀬ヤスミ	石川 和史	石丸 裕司	一ノ宮孝司	井出口 裕	井野 恵子	井上美奈子	今井久美子
越智 操	印南扶美恵	大久保雅代	大谷 久子	岡部 健一	沖中 正明	沖元てるよ	越智 京子
加藤 泰三	越智 通晴	奥村 武久	小野トヨミ	折戸 順子	恩地 森一	笠崎 弘子	片山 栄子
木村すみれ	亀岡マリ子	河上久美子	川崎 佳子	川崎 由美	菊池 節子	菊池由美子	木綱 俊三
桑田佳代子	久保スミ子	久保ヒロ子	久保 克敬	久保木道子	蔵田好伸子	栗田 啓	黒川 洋介
仙波 増子	河野 浩	薦田 道子	篠崎 憲次	城 民枝	甚野より子	須之内淳二	須山 楓
竹中真由美	高内美代子	高瀬 圭子	高田 洋子	高野 順子	武井 義定	武田 行雄	武田 良平
田村由美子	竹本 節	立川 百恵	田中都智美	田中 美枝	田中 美穂	谷口 好美	玉井 正子
中條 泰行	垂水 真人	鶴井 善子	富岡 浩一	富永 和子	豊島千津枝	永井 和美	中川 聖子
西澤 孝一	長野 敏宏	中橋 恒	中原 昭子	中山 淳	中矢 佳男	西岡美矢子	西川ゆかり
平林 茂代	西村 紀子	西本 瞳	野村 和男	畑中企仁子	羽藤 節子	原 いみ子	原 敏彦
松本 郁枝	福岡 幸子	藤木 信一	藤田 和子	星加 修	松崎 純子	松田 史子	松村 茂
宮内 福美	松本 伸郎	松本 誠人	森田 貞子	丸山 正治	三神 弘子	三神 幸子	満汐 順子
村瀬 宏之	宮崎 節子	宮崎 瑞恵	宮崎 美春	宮下ひとみ	三好 良一	村上 広子	村口 毅
藪 田鶴子	本 裕美	森 秀人	森岡 仁子	森實 京子	森本 邦江	薬師神寛司	矢野 和枝
横田 和子	山岡傳一郎	山形 久子	山崎 裕美	山本しげ子	山本 安代	遊口 親之	遊口百合子
匿名4名	好永 定	鷹尾 雅裕	渡部 順子	渡部 一彦	渡部 勉	渡部茂由子	渡辺 幸子

団体	安藤工業(株)	(株)イオタオーエーシステム	(医)今村循環器科内科	NTT 労働組合四国総支部	愛媛林産商事(株)
(株)エム・ワイ・ティ	扇屋食品(株)	おりひめ友禅(株)	(医)かざはやくクリニック	(株)門屋組	(株)関西建物
日本基督教団西条栄光教会	(医)十全会十全第二病院	(株)松栄印刷所	(公財)正光会宇和島病院	白石・安藤法律事務所	
(医)静心会平成病院	松山全日空ホテル	国際ソロブチミスト松山	大一ガス(株)	第一生命労働組合	
日本キリスト教団丹原教会	(株)テクニカル	常盤タクシー(株)	日本キリスト教団砥部教会	富晴産業(株)	
新居浜商工会議所女性会	(株)日東物産	日本食研ホールディングス(株)	伯方造船(株)	(株)母恵夢本舗	
日本基督教団松山栄光教会	日本基督教団松山古町教会	(公財)松山済美会	日本基督教団三島真光教会	村上産業(株)	
村上石油(株)	(有)大和屋本店旅館	山中造船(株)	(株)よんやく	立正佼成会松山教会	ロッキー産業(株)

商品提供 イオンテール(株)松山支店 マックスバリュ西日本(株)

**編集後記**

この広報誌は、いのちの電話の活動を多くの方々に届けるための媒体です。当たり前ですが、「言葉」で伝える必要があります。ですので、表現が間違っていないか、分かりやすいか、丁寧に見ていきました。私たち相談員の日々の活動も「言葉」で伝えます。広報誌は発行までに修正できますが、電話相談での「言葉」は修正できません。自分から放たれた言葉の重さについて、相談員養成講座に申し込んだ2年前と今では意識が変わってきたと思います。(K、I)



発行 社会福祉法人 愛媛いのちの電話  
 発行者 武井義定  
 編集 広報委員会  
 事務局 〒790-8691  
 郵便事業株式会社  
 松山支店私書箱158号  
 TEL (089) 958-2000  
 FAX (089) 958-2014  
<http://homepage2.nifty.com/find-ehime/>